

「元気に登校、笑顔で下校」

諸塚村立荒谷小学校 長友 裕之

「おはようございます、校長先生。『昨日のありがとう』は、お母さんに言いたいです。なぜなら、マスクを作ってもらったからです。」

本校の児童11名全員が、登校後、毎朝校長室に入ってきて、このような話をしてくれる。1・2年生には、上級生が付き添い、横にいて、ひそひそと下級生に優しく教えてあげている。話す内容から来室・退室の台詞と所作も下級生に丁寧に教えている。そのさりげなく教えている上級生の姿に、私は本校の伝統とこれまで本校に携わっていただいた先生方の子どもたちへの強い思いを感じた。

子どもたちとの会話を楽しんだ後に、「昨日は、笑顔で下校できましたか?」「今朝は、元気に登校できましたか?」と私は聞く。子どもたちは、毎回、「はい」と元気よく返事をしてくれる。子どもたちのステキな笑顔に癒やされるばかりである。

「元気に登校、笑顔で下校」という言葉は、前任校である宮崎市立大塚小学校の石川和明校長先生が使われている言葉である。荒谷小に赴任するにあたり、この言葉を使って良いかどうかお聞きしたところ、快諾してくださり、使わせてもらっている。

赴任してから、感染予防の観点から、多くの自粛があり、へき地校ならではの地域とのつながりがまだできていない状況である。

教諭として、教頭として、そして校長となり3度目のへき地校である。これまでの経験を十分生かし、地域とともにある学校のリーダーとして精一杯取り組んでいきたい。